

# 「withコロナ社会に、海津市の未来を創る」

## 令和3年度 当初予算総額で294億7,250万円を計上

企画財政課 ☎53-1113

令和3年度の当初予算規模は、一般会計143億5,000万円（前年度比4.3%減）、特別会計87億6,240万円（1.3%減）、企業会計63億5,680万円（1.2%減）、財産区会計330万円（5.7%減）、全体では294億7,250万円（2.8%減）となりました。

「海津市第2次総合計画」では、「水と緑と人がきらめく 輪でつながるまち 海津」を将来像に、人口減少に歯止めをかけるため、「地域の賑わいと活力の向上」、「子育て環境の整備」、「安心・安全な生活環境の整備」の3つの重点施策を掲げて施策を進めています。

将来を担う子どもたちを育て、安心して働き、ずっと住み続けることができる元気な海津市を構築するため、重点施策について全庁横断的な体制で進めるとともに、市民の皆さんや関係団体との協働により取り組みます。

新年度は、新型コロナウイルス感染症への対応を継続しつつ、withコロナ時代を生き抜くために新しい未来を見据えた「未来創生予算枠」を設定し、帰郷応援住宅取得奨励金等の移住・定住施策や、海津市農産物等PR補助金等の地域活性化策をこれまで以上に強化しました。また、南濃温泉「水晶の湯」のリニューアルオープンや国の重要文化財に指定された早川家住宅（平田町三郷）、国の天然記念物に指定された清水池などに生息するハリヨなど市の貴重な財産を保護・活用することにより、市としての賑わいを創造できるよう全力で取り組みます。

新型コロナウイルス感染症の影響もあり自主財源の確保が非常に厳しい中、将来を担う子どもたちに過度な負担を強いることなく、市の持続的な発展をはかるためには、未来を見据えた必要な手立てを講じ、新たな活力を創造することが重要です。海津市財政再生対策で掲げた目標を踏まえ、事業の選択と集中により、財政健全化に向けた取り組みをこれまで以上に進め、より一層の責任と自覚を持って市政運営に取り組みます。

### 令和3年度 会計別当初予算

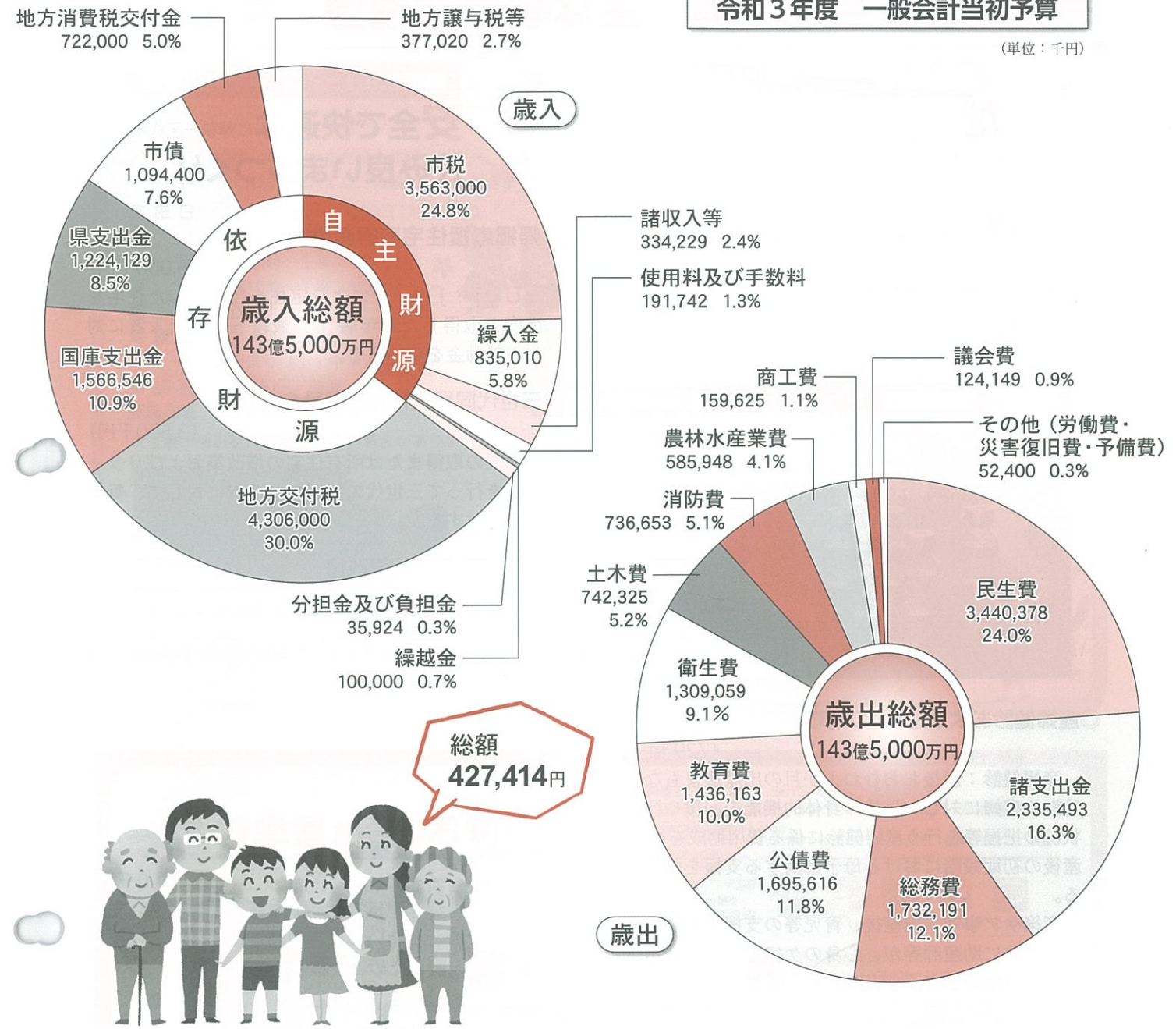
(単位：千円)

会計名	予算額	前年度比較(増減額)
一般会計	14,350,000	△642,000
特別会計	8,762,400	△118,500
クレール平田運営特別会計	101,100	△7,700
月見の里南濃運営特別会計	110,600	△2,500
介護老人保健施設在宅介護支援センター特別会計	49,500	△2,500
国民健康保険特別会計	4,116,500	△294,700
介護保険特別会計	3,566,200	179,800
後期高齢者医療特別会計	818,500	9,100
企業会計	6,356,800	△79,000
水道事業会計	1,459,000	△39,000
下水道事業会計	3,958,000	△48,400
介護老人福祉施設事業特別会計	269,300	4,100
介護老人保健施設事業特別会計	670,500	4,300
駒野奥条入会財産区会計	1,800	0
羽沢財産区会計	1,500	△200
合計	29,472,500	△839,700

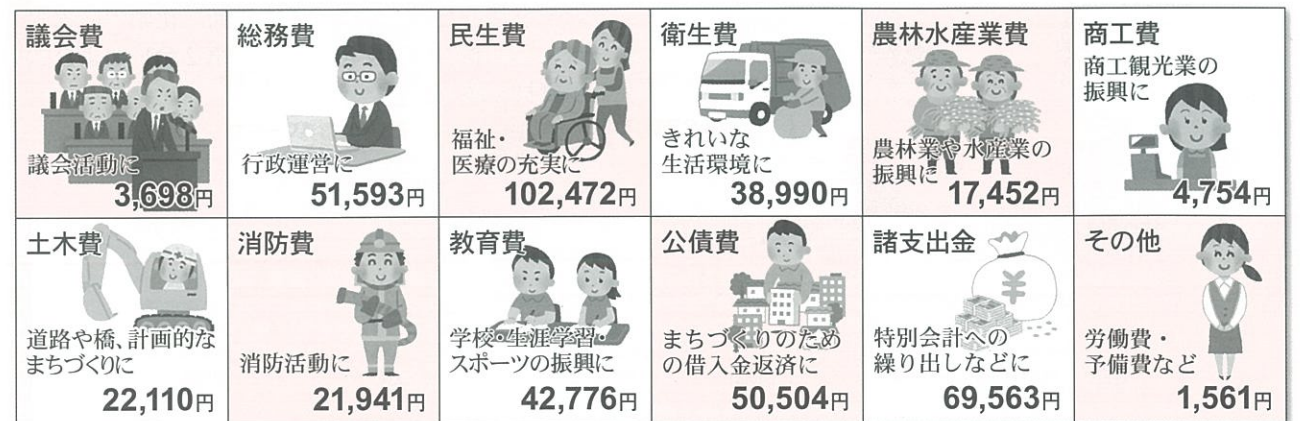
(注) 企業会計の予算額は、収益的支出および資本的支出の合計額

### 令和3年度 一般会計当初予算

(単位：千円)



### 市民1人あたりの予算の使いみち (一般会計)



※令和3年1月1日現在 市の人口33,574人